

人と人とのつながり

加藤 響

私は初めての海外だったので不安な気持ちでいっぱいでした。英語を上手に話せるか、会話が成り立つのかなど、たくさんの疑問が頭の中であふれていました。私はカナダへ到着するまで目標を決めました。それは、相手の目を見てコミュニケーションをたくさんとることです。入国審査の練習をできるまで何度も先生方が練習に付き添ってくださいました。飛行機の長旅が終わり、カナダに無事到着することができました。ホームステイのご家族が温かく家に向かい入れて下さいました。ホームステイの方は4人家族でした。ホームステイ先のお母さんは、私たちの洗濯までお忙しい中、してくださいました。お父さんは私たちにカナダであった出来事を分かり易く教えて下さいました。息子さんは、家の中の案内を親切にしてくださいました。私たちの年齢に一番近い娘さんは、学校の友達との会話などをきかせてくださいました。

最初はあまり会話が続き、一日を終えました。二日目は、少しずつ会話することができました。まだ、目を見て話すことがなかなかできませんでした。三日目は、他のホームステイの方々とプールなどに入り遊びました。自己紹介もしっかりとでき、友達も増えたので楽しい一日になりました。四日目は、カヌー体験をすることができました。指導者の方々が一生懸命指導して下さいのおかげで、少しずつ上達することができました。ホームステイの方々に日本のおもちや食べ物をプレゼントしたら、大喜びしてくださいました。だんだん慣れていき、目をみながら会話できるようになりました。お手伝いもできたので良かったです。ホームステイの方々には、本当にお世話になりました。感謝しかありません。

ホームステイのご家族に別れを告げ、最後にとっても深く抱きしめ合いました。このカナダで過ごした日々は絶対にわすれません。日本に帰国し、カナダであったことを家族に話しました。私はこの八日間の日々で学んだことがあります。英語が話せなくても、思いやりを持てば、過ごせるということです。